

小児科診療グループ

Child Health, University of Tsukuba Hospital

<初期研修編>

小児科では急性疾患が多く、全身を診ます！筑波大学小児科では、1年目に大学病院の信頼できる指導医から1対1で医師としての基礎をしっかり学び、2年目に地域基幹病院で救急疾患や common diseases を集中して研修する「小児科救急コース」を用意しています。さらに、小児医療への志望が明確な人のために、小児・周産期の専門医療を重点的に学ぶ「小児科特別プログラム」も準備されています。

急性疾患の初期対応を重点的に学ぶ「小児科救急コース」

まず医師としての姿勢、診療の進め方、文献検索、学会発表などを筑波大学小児科で3か月間学びます(A)。

2年目の小児科研修、救急研修は、県内でも救急患者が多くかつ指導体制が充実した地域基幹病院を設定しています。症例の豊富な病院で「小児」と「救急」を連続して6か月間、腰を落ち着けて研修することで、小児と成人の急性疾患を幅広く学ぶことができます(B)。

24か月間のうち残りの15か月間は通常のプログラムと同様に、各人の希望に応じて内科系・外科系診療科をローテーションします。



「小児科救急コース」キックオフミーティング▲

大学病院			大学 or 関連病院			関連病院			地域基幹病院			地域医療 (開業医含む)			地域医療ができる病院											
J1						J2																				
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
小児科 (A)			内科 6ヶ月			選択 1			小児科・救急 (B)			必選 1			必選 2			必選 3								
						地域医療																				
小児科 (A)			内科 3か月			必選 1			必選 2			必選 3			小児科・救急 (B)			内科 3か月			地域医療			選択		
小児科 (A)			内科 6ヶ月			選択 1			小児科・救急 (B)			必選			必選			必選								
						地域医療																				

※1年目、2年目の中は順不同 ※必選2は小児科・小児外科以外を選択できる ※必選1(外科系)は小児外科を推奨 ※必選3は精神科を推奨

将来の小児科専門医を初期研修から目指す「小児科特別プログラム」

初期研修から、こどもの心の医療や新生児医療など多様な小児科専門診療を研修することが可能で、小児科研修担当がコース選択者と相談し、オーダーメイドのプログラムを作ります。下はその一例で、大学病院または県立こども病院で、高度専門医療を通して医師患者関係、Evidence Based Medicine など医師としての基本を学びます(C)。2年目は「小児科救急コース」と同様に地域基幹病院で急性疾患を重点的に研修します(D)。

また、小児外科や産科の研修を行い、地域医療では地元に着した小児医療を学びます。さらに、茨城県立こども病院で小児に特化した高度専門医療を研修し、いち早く小児科専門医への第一歩を踏み出します(E)。

▼小児病棟クリスマス会



J1						J2																	
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
小児科 (C)			小児外科			内科 6ヶ月			小児科・救急 (D)			産科			地域医療			高度専門医療 (E)					

<後期研修編>

標準的な小児科後期研修プログラム

卒後6年目の後期研修修了時点で、一般病院で自立した小児科医として働ける臨床能力を獲得し、小児科専門医の取得を目指します。

2017年より小児科専門医取得に、基幹研修施設での研修と論文執筆(筆頭著者)が義務化されます。筑波大学小児科は、施設認定のためのプログラムやカリキュラムの整備を進め、研修医の論文執筆についても研修初期から積極的に支援を行います。



●小児科医入門 1年

大学病院・こども病院において、指導医のもとで小児医療の基本的な考え方を身につけ、専門医試験で問われる様々な領域の臨床経験を積みます。

●小児一般臨床 1年

各市中病院で一次～二次の一般小児科診療に携わります。総合診療、救急、トリアージ、健診など市中病院小児科医としての臨床能力を養います。

●新生児 6ヶ月～

大学病院・こども病院など総合周産期医療センターNICUで新生児蘇生・搬送、低出生体重児や新生児疾患の治療などの経験を積みます。

●チーフレジデント 1年

大学病院で自らが初期研修医を指導します。教員の監督下で副主治医となり、重大な方針決定や患者家族への説明、長期フォローアップなどを学びます。病棟の実質的な代表者としての経験を積みます。

●選択研修 6ヶ月～

各人の希望する領域に応じて、各種施設で選択研修を行います。

》主な教育研修病院

茨城県立こども病院、筑波メディカルセンター病院、日製日立総合病院、日製ひたちなか総合病院、茨城西南医療センター病院、筑波学園病院、龍ヶ崎済生会病院、総合守谷第一病院、茨城県立医療大学附属病院、県西総合病院、川口市立医療センター(新生児集中治療科)

》最近の留学先

国内留学：国立成育医療研究センター、東京都立小児総合医療センター、国立精神・神経医療研究センター
海外研修：Philadelphia 小児病院、トロント小児病院 SICK Kids、国際下痢性疾患研究センター



筑波大学小児科 研修担当教員：大戸達之

Tel : 029(853)5635 E-mail : pediatr@md.tsukuba.ac.jp
HP : <http://www.md.tsukuba.ac.jp/clinical-med/pediatrics>

【小児科レジデント研修担当】

金井 雄 kanai-tuk@umin.ac.jp
酒井 愛子 sakai-ygt@umin.ac.jp

